
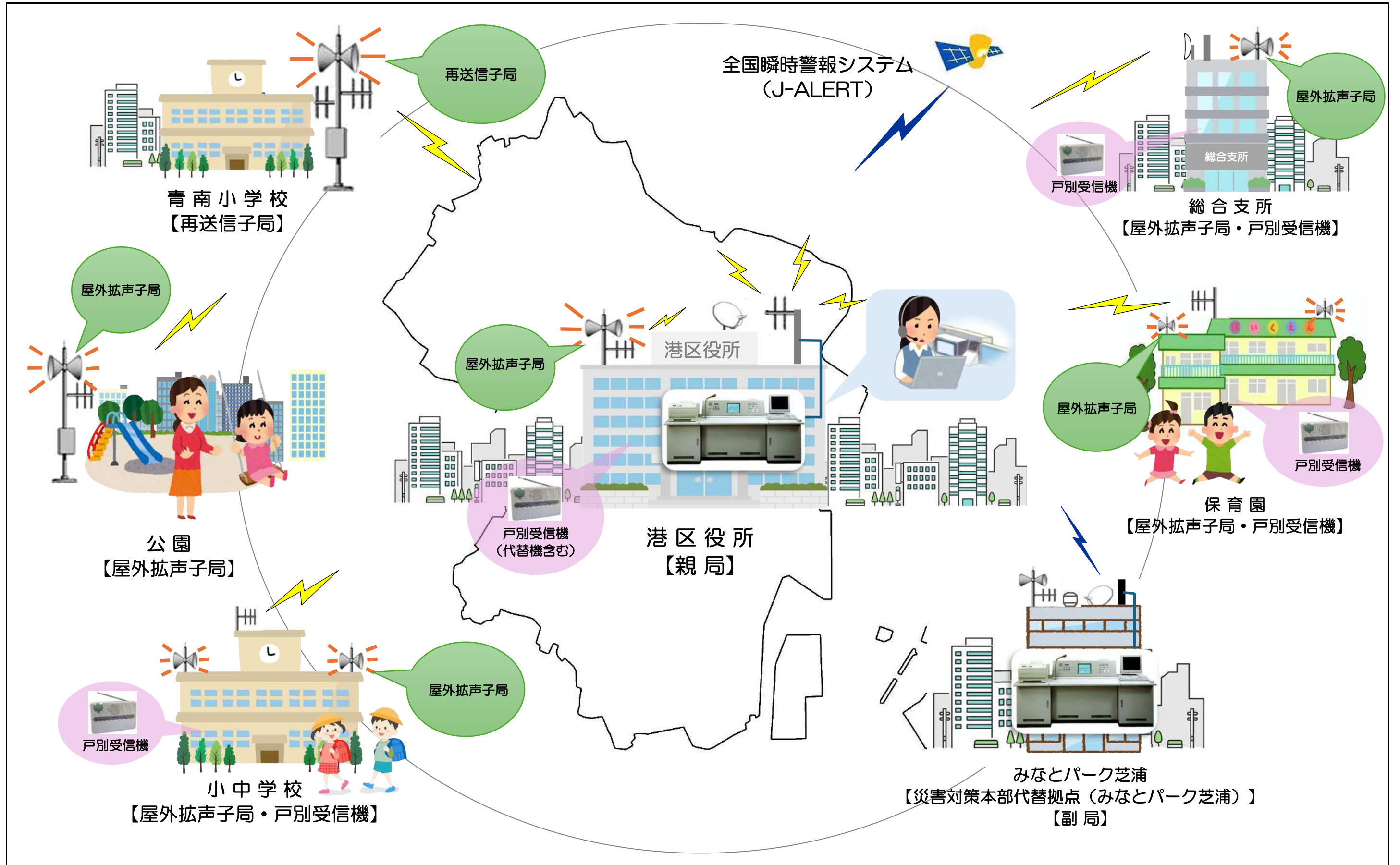


港区同報系システム構成図

60MHz帯: 



【同報系設備詳細】

親局 (1局) 副局 (1局) 屋外拡声子局 (120局) 再送信子局 (1局) 戸別受信機 (210台) 代替機含む

災害時情報通信システム一覧

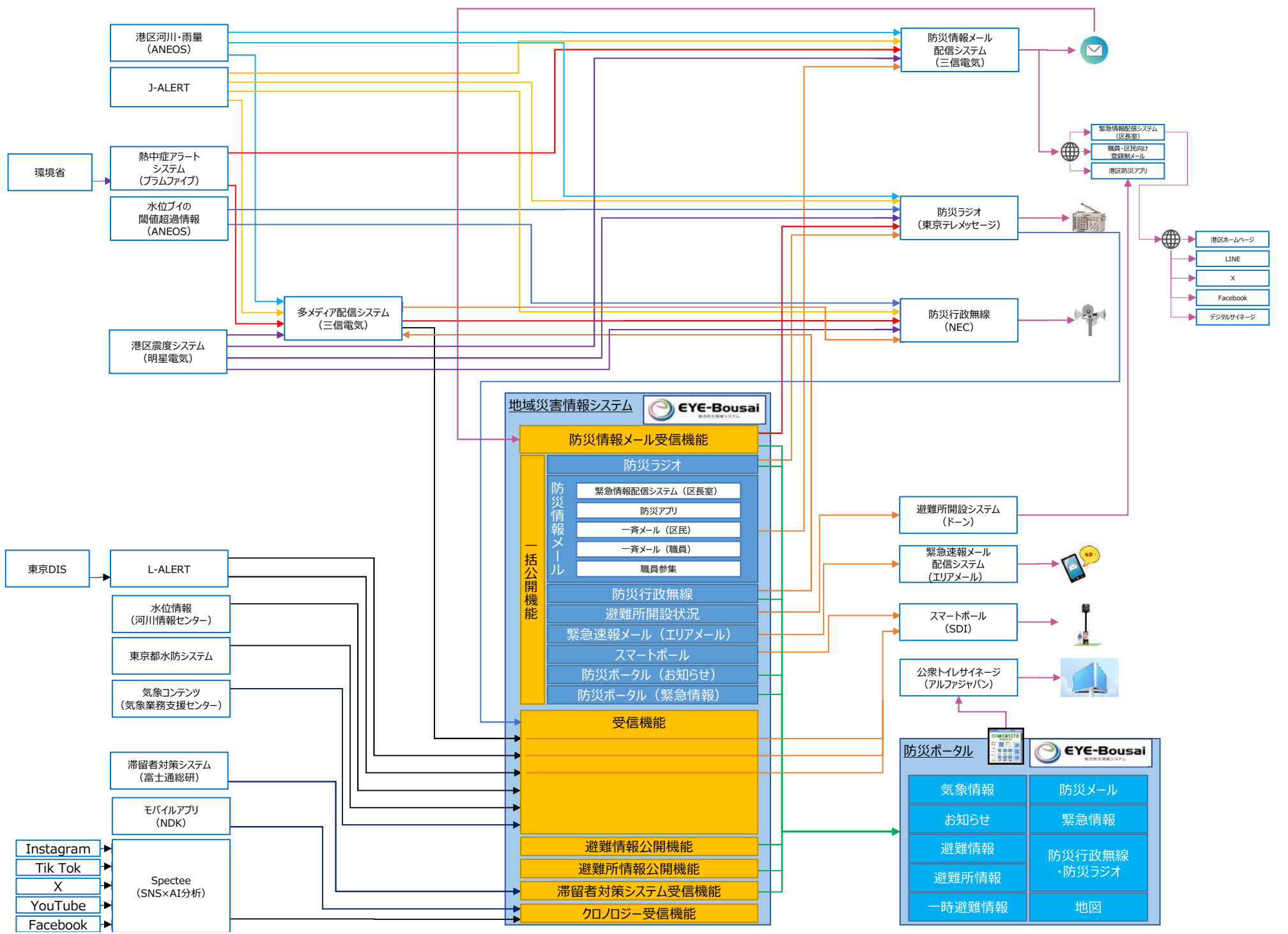
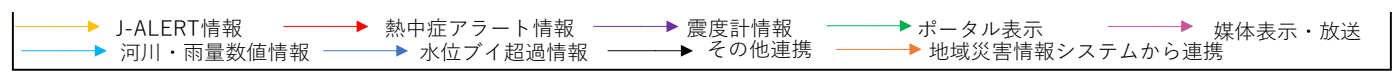
No.	システム	説明
1	区防災行政無線（同報系）システム	屋外拡声子局や戸別受信機を介して区民に対し直接・同時に防災情報等を伝えるシステム。区内全域に配備。親局、基地局、再送信子局、屋外拡声子局、戸別受信機等を整備。
2	区防災行政無線（移動系）システム	携帯型・車載型・半固定型の移動局及び区の基地局との間で通信を行うシステム。統制局・基地局・移動局を配備。
3	FWAシステム	区防災行政無線（移動系）システムのネットワーク回線及び区内各総合支所・分室等を接続し、ネットワーク内のホットライン電話、FAXを活用可能。
4	震度情報システム	港区役所に設置された震度計（計測震度計）で地震の揺れを即時に計測し、その結果を庁内周知・防災音声放送・他システムへ連携するための地震初動対応システム。
5	雨量水位観測システム	港区内に設置された水位計・雨量計で観測したデータをリアルタイム収集し、その結果を庁内周知・防災音声放送・他システムと連携するための水害対策用システム。

港区 災害情報伝達手段整理表

本表は、地域災害情報システムにおける一括公開機能を使用した情報発信の流れを示したものです。各情報伝達手段との個別の自動連携は別紙「外部システム連携図」を参照してください。

地域災害情報システム EYE-Bousai				
システム名	システム内容	設置場所	情報提供対象者	運用部署
港区防災ポータル	●地域災害情報システム（NTT）のパッケージで作られたホームページです。地域災害情報システムで区民に公開できる情報は自動でポータルサイトに連携します。	携帯電話・PC	区民・来街者	防災課
六本木 公衆トイレサイネージ	●防災ポータルサイトの画面をサイネージに映します。	六本木三丁目児童遊園	区民・来街者	麻布地区総合支所 まちづくり課
システム名	システム内容	設置場所	情報提供対象者	運用部署
スマートポール	●防災行政無線と同内容を同タイミングで放送します。 ●スピーカーとデジタルサイネージで情報発信します。	区内10公園	区民・来街者	D X 推進課
システム名	システム内容	設置場所	情報提供対象者	運用部署
防災情報メール配信システム	●Jアラート（気象、国民保護）、水位雨量情報を自動連携し、配信します。 ●手動で避難情報やその他緊急情報を配信します。	携帯電話・PC	区民	防災課
港区防災アプリ	●防災情報メールで配信した内容を配信します。 ●各ハザードマップや区民避難所等を地図上で確認できる防災マップの利用が可能です。	携帯電話・PC	区民	防災課
職員・区民向け 登録制メール	●Jアラート（気象、国民保護）、水位雨量情報等を配信します。 ●手動で避難情報やその他緊急情報を配信します。	携帯電話・PC	区民・職員	防災課
緊急情報配信システム	●防災情報メールで配信した内容が港区公式HP、LINE、X、Facebook、サイネージに自動連携します。	携帯電話・PC	区民	区長室
港区ホームページ	●緊急情報配信システムの配下です。	携帯電話・PC	区民	区長室
LINE	●緊急情報配信システムの配下です。	携帯電話・PC	区民	区長室
Twitter	●緊急情報配信システムの配下です。	携帯電話・PC	区民	区長室
Facebook	●緊急情報配信システムの配下です。	携帯電話・PC	区民	区長室
デジタルサイネージ	●緊急情報配信システムの配下です。	携帯電話・PC	区民	区長室
システム名	システム内容	設置場所	情報提供対象者	運用部署
防災ラジオ	●280MHz帯の電波を使用しています。 ●防災行政無線と同内容が放送されます。	自宅	区民	防災課
システム名	システム内容	設置場所	情報提供対象者	運用部署
緊急速報メール配信システム	●気象庁が配信する緊急地震速報や気象情報を回線混雑の影響を受けずに受信可能です。対象エリアにいる人の携帯（docomo、SoftBank、au、楽天の4キャリアに限る）に配信されます。	携帯電話	区内対象エリアにいる人	防災課
緊急速報メール（docomo）	●緊急速報メール配信システムの配下です。	携帯電話	区内対象エリアにいる人	
エリアメール（SoftBank）	●緊急速報メール配信システムの配下です。	携帯電話	区内対象エリアにいる人	
エリアメール（au）	●緊急速報メール配信システムの配下です。	携帯電話	区内対象エリアにいる人	
エリアメール（楽天）	●緊急速報メール配信システムの配下です。	携帯電話	区内対象エリアにいる人	
システム名	システム内容	設置場所	情報提供対象者	運用部署
多メディア配信システム	●Jアラートシステム、港区震度システム、熱中症アラートシステム、ANEOSシステム（港区河川・雨量）からの情報を防災行政無線に配信します。	—	—	防災課
防災行政無線	●区民や来街者に防災情報や緊急情報を一斉に伝達するため、60MHz帯同報系防災行政無線を整備しています。 ●Jアラート（気象、国民保護）、水位雨量情報、計測震度計、熱中症、光化学スモッグ、電力需給ひっ迫情報を放送しています。 ●その他、避難情報も放送します。 ●子局ごとの個別放送が可能です。	—	—	防災課
屋外拡声子局	●区内120か所に設置している屋外子局から国民保護、気象情報、緊急地震速報、避難情報等を放送します。平時は熱中症や光化学スモッグ、電力需給ひっ迫情報を放送することもあります。	区有施設等の屋外	区民・来街者	防災課
戸別受信機	●屋外拡声子局の放送内容を部屋内でも聞くことのできる受信機です。区有施設の事務室や一部の町会・自治会関係の建物内に設置しています。	区有施設等	区民	防災課
EAT端末（J:COM）	●防災行政無線と連携し、同じ内容を放送します。CATV回線エリアでのみ運用可能で、J:COM社が提供しています。	自宅	区民	JCOM株式会社

◆外部システム連携図



既設防災行政無線の不具合等一覧表

対象		不具合等箇所	内容	
親局		【不具合】 タイムセーバー	●設定した時間とはずれた時刻に放送が鳴ることがある。 令和6年度は17時に鳴るはずの夕焼け小焼けが17時2分に鳴り、区民からも陳情あり。（現在は解消済）	
		【仕様】 副卓（みなとパーク芝浦）への切替え	●本庁の本卓からみなとパーク芝浦の副卓へ切り替える際、現地での切替作業が必須であり、本庁舎からの切り替えができない。	
		【仕様】 外部機器連携時の制限	●外部機器と無線卓を連携させる時にポート数が少ない。 NTT地域災害情報システムの一括公開機能と連携させる時に、ポート数が足りないため、音声データしか連携できず、インターネット環境との接続ができない。	
		【仕様】 操作性	●画面操作時、手動発報するまでの操作が多く、職員が即時に発報することが難しい。	
		【不具合】 操作卓	●令和6年度、地図表示装置にて起動不良があった。再起動で復旧したが、機器更新が求められている。	
同 報 系	屋外拡声子局	【不具合】 白金三丁目付近	●令和7年夏ごろからハウリングが発生しており、複数区民からの陳情があったため、運用停止中 ●保守員の調査によると、電波受信レベルがよくないとのこと。	
		【不具合】 南青山六丁目	●年々音が小さくなっており、音が鳴らない時もあり。 ●保守点検時も電波受信感度は悪いとのこと。	
		【不具合】 白金台一丁目	●電波状況は良好だが、学校周辺の機器が発する外来ノイズにより、アンテナが電波を受信する時に他の電波を受信してしまい、放送に影響を与えている。	
		【その他】 青山エリア全般	●青山エリアは高層ビルや交通量の多さから、放送が聞こえない箇所が発生している状況。	
		【不具合】 通信不具合	●令和7年度保守点検結果：21か所にて以下の指摘あり 「電波状態が悪く試験放送ができませんでした。電波環境の改善が必要です。」	
		【不具合】 設備不良	●令和7年度保守点検結果：8か所にて以下のような指摘あり 「ブリカチューブ亀裂あり」 「アンテナエレメントの表面が劣化しています。」 「装置内部に水が浸入したとみられる跡と、配管にサビを確認しました。」	
		【その他】 樹木接触（6ヶ所）	●令和7年度保守点検結果：6か所にて以下の指摘あり アンテナが樹木と接触しているため、樹木の伐採が必要。	
	戸別受信機	【運用】 機器の必要性	●区民向けに280MHz帯港区防災ラジオ（東京テレメッセージ）を配付しているため、機能が重複している。	
		【運用】 移設工事	●機器設置施設の改修工事等に伴い、機器移設のための配線工事を実施するため、毎年多額の費用がかかっている。	
		【不具合】 通信不具合	●令和7年度保守点検結果：21か所にて以下の指摘あり 「電波状況が悪く、試験放送が入りませんでした。電波環境の改善が必要です。」	
		【不具合】 設備不良	●令和7年度保守点検結果：2か所にて以下の指摘あり 「アンテナプラグが破損しております。」	
	移 動 系	半固定	【仕様】 機器本体	●本体が大きいため設置場所の確保が難しい。 ●ケーブル配線のため、設置場所に制約があり、使用したい場所に容易に移動できない。
			【不具合】 故障頻度	●導入から18年近く経過しているため、故障が多くみられる。 機器自体もメーカーで製造が終了しているため、修理が難しい。
			【仕様】 操作性	●受話器部分の操作が難しく、災害時に職員が容易に使用できない。
【運用】 移設工事			●機器設置施設の改修工事等に伴い、機器移設のための配線工事を実施するため、毎年多額の費用がかかっている。	
【不具合】 通信不具合			●令和7年度保守点検結果：9か所にて以下の指摘あり 「電波状態が悪く通信不通が発生する状況です。電波環境の改善が必要です。」	
【不具合】 設備不良			●令和7年度保守点検結果：25か所にて以下のような指摘あり 「無線機が正常に起動せず、通信試験が出来ませんでした。」 「ハンドセットの液晶不良で表示が見えづらい状態でした。」 「ハンドセットの受話音声聞こえない状態でした。」 「電源スイッチが劣化している為、電源が入りづらくなっています。」	
無線FAX		【仕様】 機器本体	●本体が大きいため設置場所の確保が難しい。	
		【不具合】 故障頻度	●導入から18年近く経過しているため、故障が多くみられる。 （令和7年度に50台更新済み）	
		【不具合】 通信不具合	●令和7年度保守点検結果：2か所にて以下の指摘あり 「電波状態が悪い」	
		【不具合】 設備不良	●令和7年度保守点検結果：14か所にて以下のような指摘あり 「経年劣化により動作が不安定な状況です。」 「TOPカバーが有りませんでした。」	